

認知症 市民向け研修会の開催報告



渡部先生の講演のご様子です。  
分かりやすく、ご講演頂きました。



寸劇の様子です。



平成30年度 第2回 飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター  
認知症市民啓発研修会

講師と寸劇スタッフ、飯塚警察署の方々と写真です。

平成30年9月29日土曜日、飯塚記念病院 福岡県認知症医療センター主催の今年度第2回目、一般市民向けの認知症啓発研修会をのがみプレジデントホテルにて開催させていただき、行政職員、民生委員、主婦、地域包括支援センター職員、グループホーム職員、ケアマネージャー、精神科病院の看護師、ホームヘルパーなど当日は123名の方々に参加して頂きました。（事前申し込みは142名の申し込みがありました。）

今回は、台風24号が接近していく中での開催でした。当日はお足元が悪い中、また台風の影響で色々ご苦労がある中、渡部先生、参加者の皆様方には本当にご参加頂きまして、改めてこの場で御礼申し上げます。

さて、講演では、「認知症を学び地域で支える 認知症の“”人の気持ち”～さらば!特殊詐欺!!～」という演題で、北九州市社会福祉協議会 社会福祉士 渡辺文華先生に、認知症の概念、関わり、事例を通じて、認知症を患う方をどのように支援していくか、わかりやすく講演していただきました。



また、福岡県老人福祉施設協議会 筑豊地区の次世代委員の皆様方のご協力による寸劇と

飯塚警察署からの特殊詐欺等の事案における対応等の現状についても触れさせて頂きました。



皆様方のアンケートの声を一部紹介させていただきます。【アンケート回収率：約74%、96名の回答】

- ・認知症の方が私たちの作った環境に適応しようとして一生懸命考え、自分なりにまわりに気をつけて正しいと思うことをしていることを理解できたら、私たちの接し方も変わってくると思いました。
- ・認知症も詐欺も実際に寸劇を交えて説明して頂きとても良かった。
- ・私たちが関わっている事例とよくにかよった方が多く、その対応方法も似ていることで、少し自分の対応方法に安心を覚えた。



最後に、今年度の市民啓発研修会の開催は終了です。来年度は若年性認知症の方、当事者を交えての講演、

7月にお招きした、小規模多機能施設めおといわ「ゆい」の党一浩先生による再講演等を企画していく所存です。